



せんだい多自然川づくり シンポジウム

2023年

3月10日(金) 18:00~20:00

参加費
無料

場所

仙台市市民活動サポートセンター
研修室5 (仙台市青葉区一番町4丁目1-3)

定員

50名程度

開催方式

ハイブリッド開催 (対面&Zoom)

全国の河川には、堰堤などの河川横断工作物が数多く設置されています。これらは、治水や利水を行う上で我々に必要なものですが、魚類を始めとした水生生物の往来を妨げているのも事実です。本市を流れる竜ノ口溪谷と梅田川にも堰堤があり、水生生物が往来できない状態でしたが、全国でも例を見ない“切欠き魚道”を新規設置したことで水生生物の往来が可能となりました。切欠き魚道は工法が簡素であり、かつ低予算で設置できるため、杜の都仙台を切欠き魚道を活用した多自然川づくりのモデルエリアとして、全国に普及することを目指しています。

今回のシンポジウムでは、“切欠き魚道”をきっかけとして、市民参加型の川づくりやこれからの仙台流域圏の在り方について、皆さまで考えたいと思います。

切欠き魚道
から始まる
新たな川づくり
の杜の都

パネリスト・コーディネーター



林田寿文氏 (土木研究所自然共生研究センター 主任研究員)



棟方有宗氏, 伊藤 峻氏 (宮城教育大学 准教授, 大学院生)



矢野篤男氏 (東北工業大学 客員研究員)

以下のURLまたはQRコードからお申込みください

<https://forms.gle/SUJWC7ukX6BK8k9R9>



【主催・お問い合わせ先】

仙台リバーズネット・梅田川
カントリーパーク新浜
NPO法人水・環境ネット東北
E-mail mizunet@mizunet.org
TEL 090-2979-5755

協力
国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センター
宮城教育大学棟方研究室

協賛
(一社) 東北地域づくり協会

後援
仙台市建設局下水道建設部河川課

本シンポジウムの開催には、地球環境基金とオオバまちづくり基金を用いています。

